

Basic information

| | |
|--------------------|---------------------------|
| 法人設立年月日 | 2016年11月1日 |
| 指定年月日 | 2018年11月1日 |
| 資本金等 | 5,000千円 |
| 株主・構成団体等 (出資割合) | 個人5名と2法人による出資 |
| 職員数 | 5名(取締役4名、監査役1名) ※全員非常勤 |

■ 法人の紹介

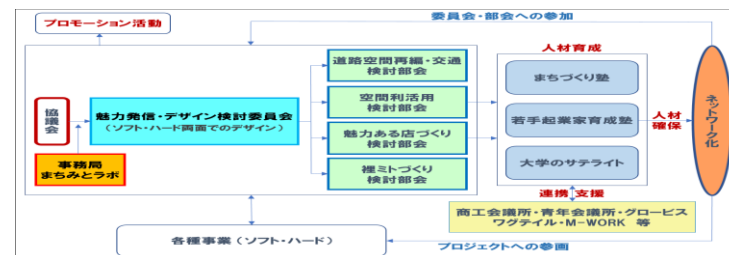
水戸市は、歴史、文化、学問、芸術、自然など他に突出して優れた資源、有利な条件、強力な個性が豊富。これらの資源を活かし『住みたい』『住み続けたい』と思えるまちづくり、水戸のまちなか再生に向け、ソフト・ハード両面にわたる事業を展開しています。



株式会社まちみとラボ

■ 官民連携による事業推進体制

国や県、市の関係者並びに各種民間団体、交通事業者、金融機関等と専門人材による「水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会」を設置しています。



Project

1 まちなかマルシェ「ガンゲット」

(収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地)

■ ライフスタイルの再発見を

マルシェを実験的に開催し、多様な世代や市内外居住者などの購買ニーズ、新たに生まれつつあるライフスタイルの調査・分析を行う。



2 ウェブマガジン「TRIX MAG」

(収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地)

■ 水戸をプロデュースする

水戸をプロデュースする情報発信ツールとしての地域メディア。水戸のまちで学びたい、暮らしたい、働きたい人向けに、水戸でのライフスタイル、ワークスタイルをサイトで、紙面で、リアルな現場で、それぞれの情報を提供。



■ 活動エリア (約157ha)

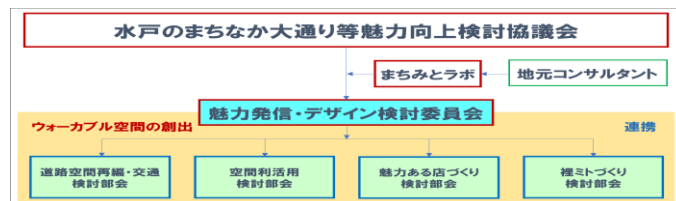
国道50号(大通り)を中心に特に多くの都市機能と社会的資源が集積し、水戸市立地適正化計画において都市機能誘導区域の役割を担うこととされている水戸市中心市街地活性化基本計画の計画区域「都市中枢ゾーン」を活動エリアとしています。



Hot topic

■ 官民連携まちなか再生事業への取組

「水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会」にて、未来ビジョンの策定と社会実験等に取り組む。大通りと裏通りエリアを、居心地が良く歩きたくなる空間に。



3 コンテストとリノベーション

(収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地)

■ まちなかの新しい使い方を

ビジネスプランコンテストを実施し、リノベーション事業を通して創業支援、経営支援を検討、実施。また、古いマンションの空き室を活用したリノベーションを実施、新しい住まい方によるまちなか居住を促進。



4 インキュベーション施設「M-WORK」

(収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地)

■ 想像を現実に変える場所

多様な形態・規模に対応した新規創業者の支援を図るためのインキュベーション空間(M-WORK)を水戸のまちなかに整備。水戸出身で新進気鋭の若手起業家・須田将啓氏(エングモ代表)らとのコラボレーションで実現。

